

2026年3月18日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

病棟急変由来 ICU 入室症例における **Rapid Response Team (RRT)** 及び **Critical Care Outreach Team (CCOT)** 介入群と非介入群の予後とリスクの評価に関する研究

2. 研究責任者

海南病院 麻酔科 秋丸 慎太郎

3. 研究の概要

従来、海南病院ではコード・ブルーシステムにより、病院内で心肺停止や呼吸停止を来した重症患者さんに対して緊急対応を行っていました。近年では、一般病棟の患者さんの生存率向上を目指して、重症症例の早期発見を行う **RRT** システム（院内迅速対応、急変前対応システム）による活動を開始しました。それらに加えて、**RRT** やコード・ブルーの起動基準を満たさない、重症化リスクの高い患者さんを対象に **CCOT** による介入を行い、リスク評価と重症化予防を行ってきました。

本研究は病棟で急変し **ICU** に予定外で入室した患者さんを対象に **RRT**、**CCOT** による介入があった集団とそうでない集団に属する患者さんについて、その属性と予後について検討することを目的としています。

この研究により将来、病棟急変によって **ICU** へ緊急入室する患者さんのリスクを詳細に評価することができ、**CCOT** の介入基準などを見直すことで、より安全な病棟管理や高度な急変予測を行うことが可能と考えます。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

この研究では、2024年4月1日から2026年3月31日までに海南病院に入院し、病棟で急変した後に予定外で **ICU** へ入室した患者さんを対象としています。

② 使用する試料等

カルテ情報：性別、年齢、ICU入室時の記録、4400コール、RRT及びCCOTの対応記録から接触時の状況、治療内容、バイタルサイン、National Early Warning Score、SOFA (Sequential Organ Failure Assessment) スコア、人工呼吸をしていた場合は人工呼吸器装着時間、ICU退室時の転帰、ICUの在室時間、入院期間

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 麻酔科 秋丸 慎太郎
電話：0567-65-2511 (代表)